

北九州空港業務継続計画 (A2-BCP)概要

あらゆる自然災害に対応すべく、**空港に必要な機能を定義**し、この機能確保を目的として **基本計画(B-Plan)** 及び **機能別対応計画(S-Plan)** を策定。

【機能定義の背景】

- 航空旅客をはじめとした全ての空港利用者の安全・安心の確保
- 救急・救命活動を必要とする空港周辺住民の支援
- 航空ネットワークの維持

北九州空港業務継続計画(A2-BCP)

基本計画(B-Plan)

- 滞留者対応計画
- 早期復旧計画
(必要な職員・従業員の確保)
(訪日外国人への対応)

機能別対応計画(S-Plan)

- 電力供給機能喪失時対応計画
- 上下水道機能喪失時対応計画
- 空港アクセス確保計画
- 通信機能喪失時対応計画
- 燃料確保計画

連絡橋通行可能

連絡橋通行不可能

A2-BCP

北九州空港A2-BCPは連絡橋通行「可能」・「不可能」の別で策定

可能: 何らかの大規模自然災害により、空港連絡橋の点検による一時閉鎖に伴い北九州空港内に滞留者が発生するものの、空港連絡橋の安全が確保された後には空港島外へ移動可能な状況を想定。

不可能: 何らかの大規模自然災害により、北九州空港内に滞留者が発生し、空港連絡橋が通行できない場合を想定。